

東証プライム 4229

群栄化学工業株式会社

会社説明資料

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry



- P 3 : 会社概要・事業内容
- P 1 3 : 注力製品
- P 1 8 : 成長戦略
- P 2 5 : 2025年3月期 業績予想・株主還元

会社概要・事業内容

群栄化学 は、身近にある様々な産業分野に
化学品・食品の「機能性材料」を提供する

『**素材メーカー**』です

化学品



フェノール樹脂 他



フェノール樹脂繊維
(カインール)

食品



でんぷん糖類

事業セグメント

化学品事業



フェノール樹脂 他



フェノール樹脂繊維
(カインール)

食品事業



でんぷん糖類

電子材料



フォトレジスト用樹脂
【半導体・ディスプレイ向け】

環境材料



活性炭・防護/耐火用繊維
【溶剤回収・航空宇宙向け】

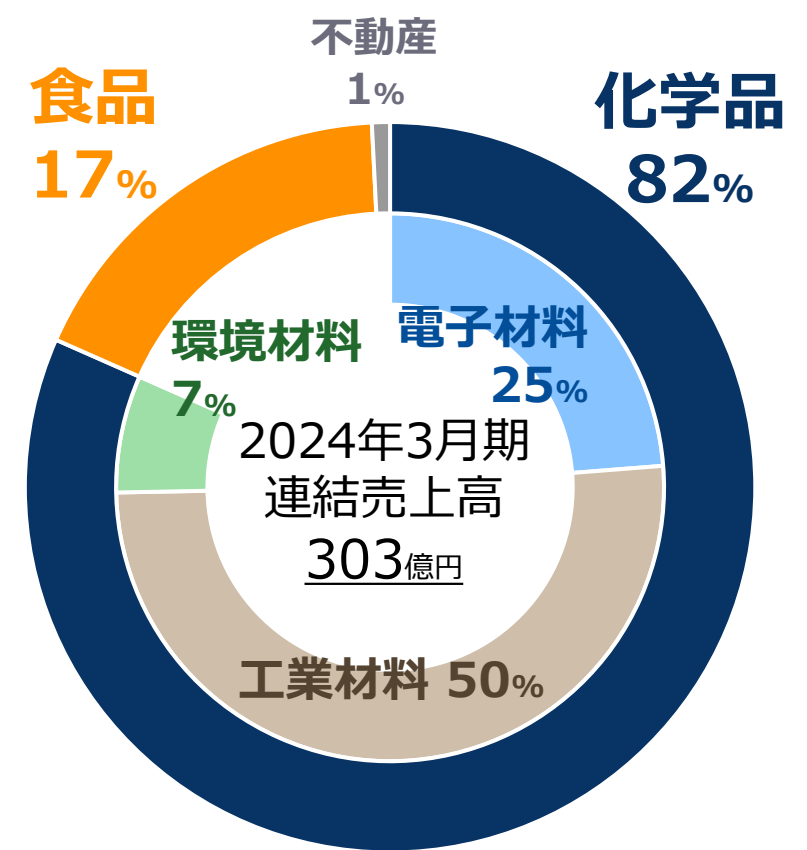


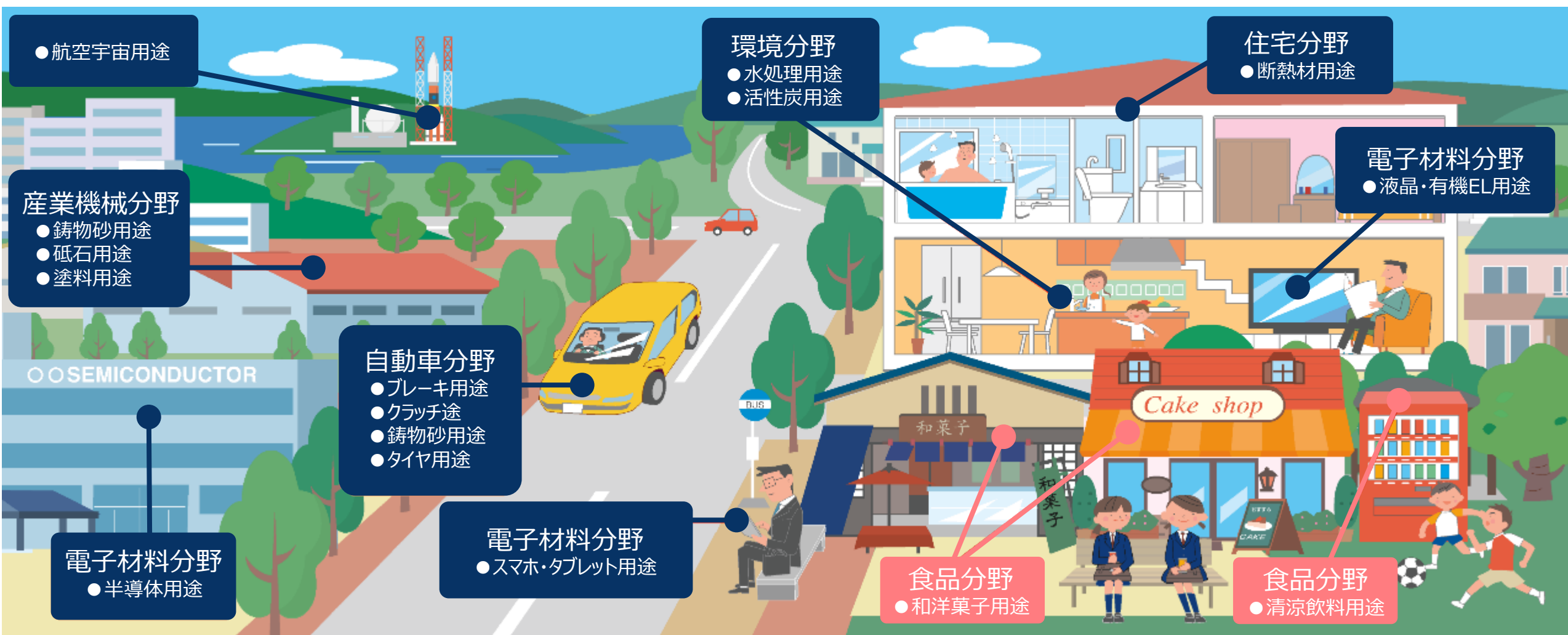
異性化糖・水あめ・穀物糖化液
【清涼飲料・菓子・調味料・酒類・植物性ミルク向け】

工業材料



鋳型・摩擦材・成形材・断熱材用樹脂
【自動車・建設機械・工作機械・住宅設備向け】





群栄化学の製品は、縁の下の力持ちとして
皆さまの身近で活躍しています

- 社名 : 群栄化学工業株式会社
- 本社所在地 : 群馬県高崎市宿大類町700番地
- 設立 : 1946年1月23日（創業 79年目）
- 上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場
- 資本金 : 50億円
- 従業員数 : 542人
- 国内拠点 : 群馬県、東京都、大阪府、滋賀県、岩手県
- 海外拠点 : タイ、インド、アメリカ、ドイツ



代表取締役 社長執行役員
有田 喜一郎

社是

節約・勤勉・合理主義

無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、
より豊かな未来社会創りに貢献する

1946年
群馬栄養薬品株式会社 設立



1953年
群栄化学工業株式会社
へ商号変更

1974年
東証第二部上場

1990年
Thai GCI Resitop
Company Limited 設立

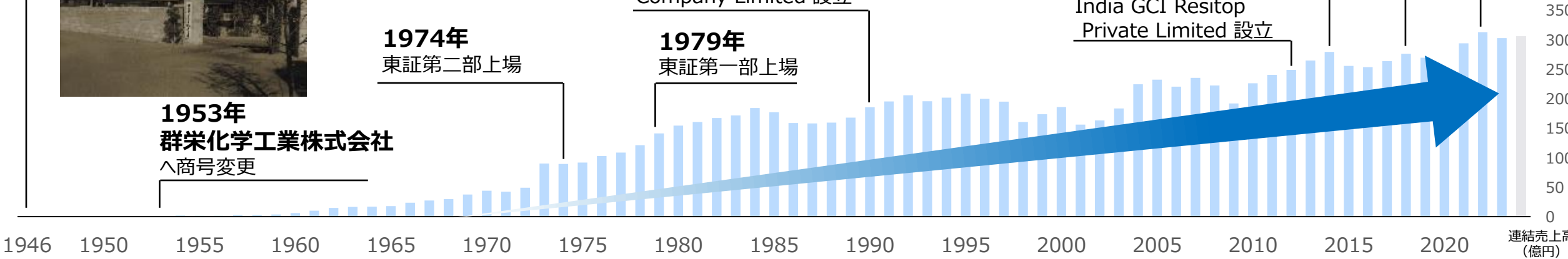
1979年
東証第一部上場

2014年
東北ユーロイド工業株式会社 取得

2018年
American GCI Resitop, INC. 設立

2012年
India GCI Resitop
Private Limited 設立

2022年
プライム市場移行
売上高300億円到達



1946年～ ぶどう糖 生産開始 1951年～ 工業用フェノール樹脂 生産開始 1960年代～ 鋳物用・塗料用樹脂などの販売で 自動車産業と共に業績拡大	1980年～ フォトレジスト用ノボラック樹脂 生産開始 1982年～ フェノール樹脂繊維「カイノール」生産開始 1990年～ タイGCI設立 グローバル展開開始	2000年～ 穀物糖化液 生産開始 2010年～ 電子材料分野を中心とした業績拡大 2018年～ 摩擦材用樹脂「ミレックス」事業買収 アメリカンGCI設立 北米市場の拡大
--	--	---

群馬県高崎市

本社・技術開発センター

群馬工場

(化学品・食品製造)

高崎支店



グループ会社

株式会社ビッグトレーディング

(派遣・業務請負)

滋賀県湖南市

滋賀工場

(化学品製造)



岩手県北上市

グループ会社

東北ユーロイド工業株式会社

(化学品製造・受託製造)



東京支店

大阪支店



E（環境）

- ・環境配慮型製品の開発
（お客様のCO₂排出量削減に寄与）
- ・実質CO₂フリー電力の導入
- ・CDP気候変動質問書2023
「B-」（マネジメントレベル）
- ・EcoVadis
「Bronze」（上位35%以上）
- ・省エネ法
「9年連続Sクラス認定」
- ・全国みどりの工場大賞
「関東経済産業局長賞」受賞



S（社会）

- ・イベント、パートナーシップ参加
SDGsぐんま連絡会議
高崎環境パートナーシップ会議
ぐんえいまつり（4年ぶり開催）
- ・各種支援
令和6年能登半島地震義援金
女子テニス国際大会
「高崎国際オープン」協賛



G（統治）

- ・ガバナンス体制の拡充、多様性確保
監査等委員会設置会社移行
譲渡制限付株式報酬制度導入
女性取締役就任
女性管理職比率向上
- ・従業員エンゲージメント
健康経営優良法人2024認定



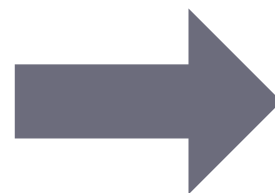
注力製品

- フォトレジスト : 半導体製造に使用する薬剤。当社は1980年に日本で初めてフォトレジスト用ノボラック樹脂を上市。
現在、g/i線・液晶向けフォトレジスト用樹脂のグローバルシェアNo.1

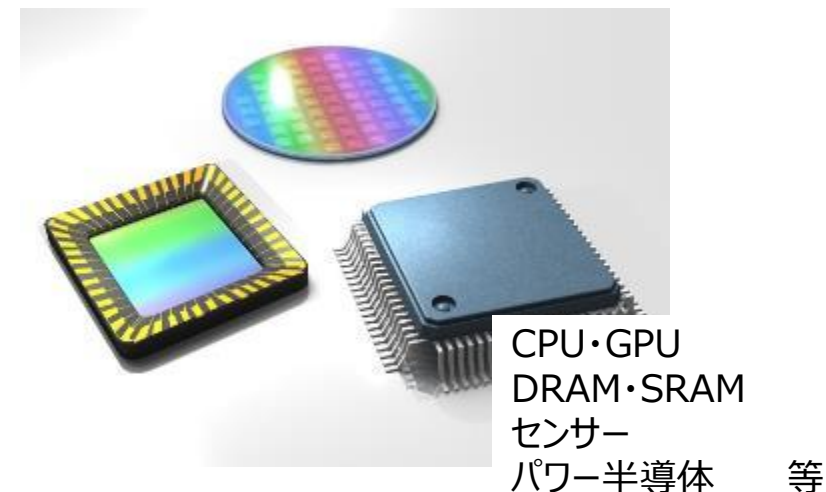
フォトレジスト



製造工程で使用



半導体



半導体の用途例



PC・スマートフォン・ディスプレイ



データセンター

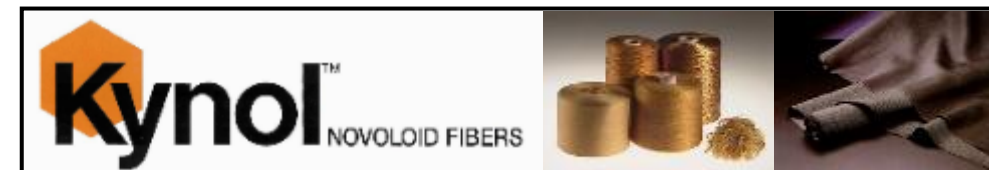


EV・車載センサー



再生可能エネルギー

- カイノール : フェノール樹脂を繊維状に加工
世界で当社だけが製造する高性能繊維



特徴

高い難燃性、断熱性

特定溶剤の優れた吸脱着性能（活性炭）



防護服

用途

防護服、航空機座席の防火シート

溶剤回収装置（活性炭）



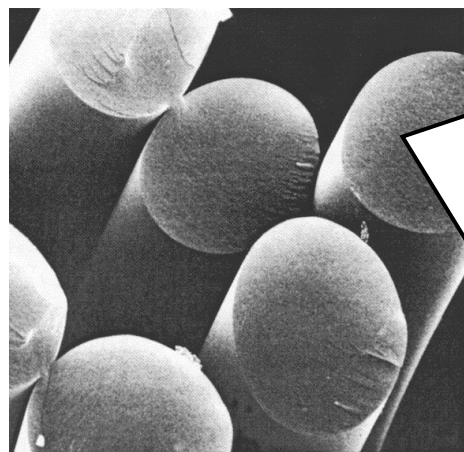
航空機座席



活性炭用途

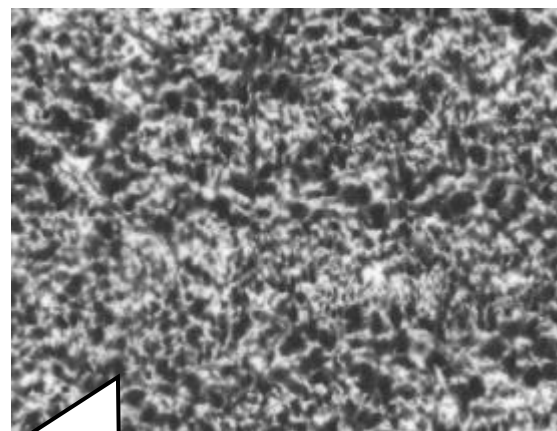


活性炭繊維の表面



活性炭繊維

拡大図



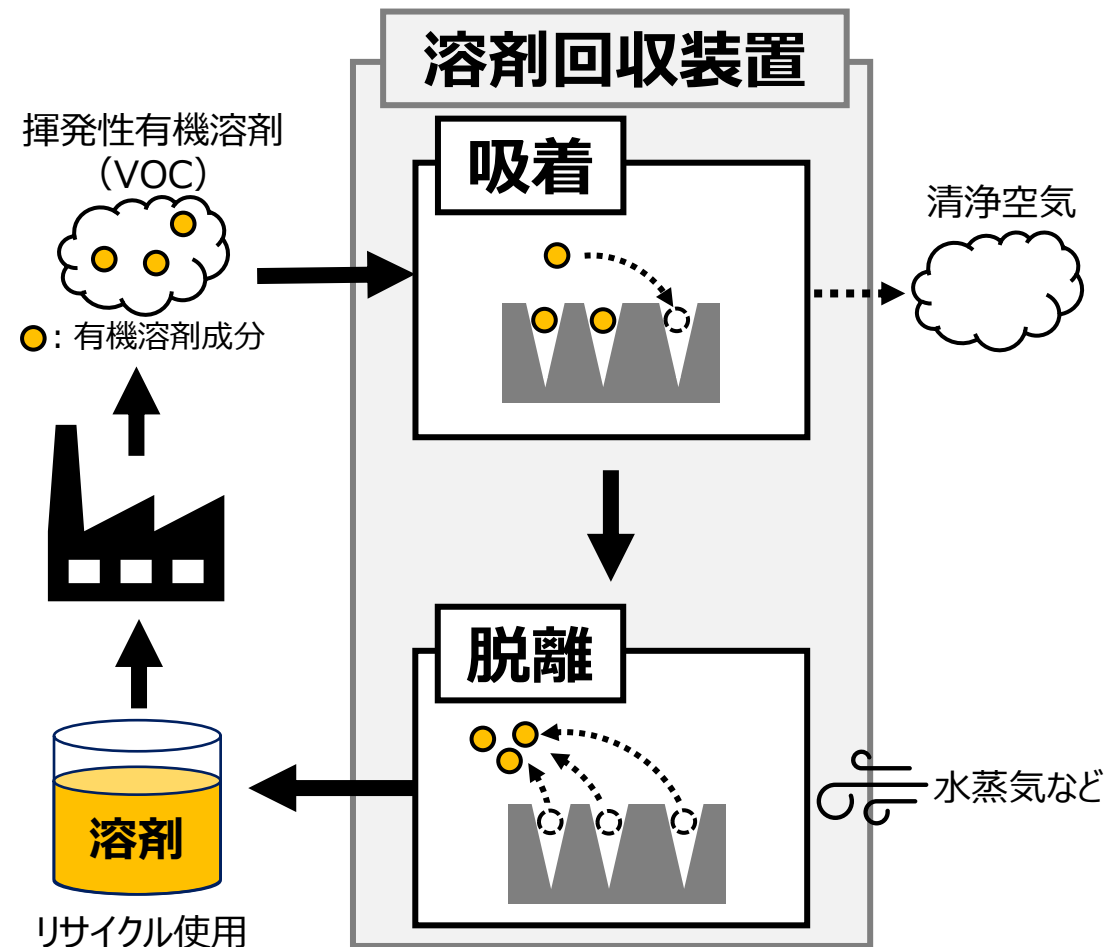
イメージ

細孔



活性炭繊維

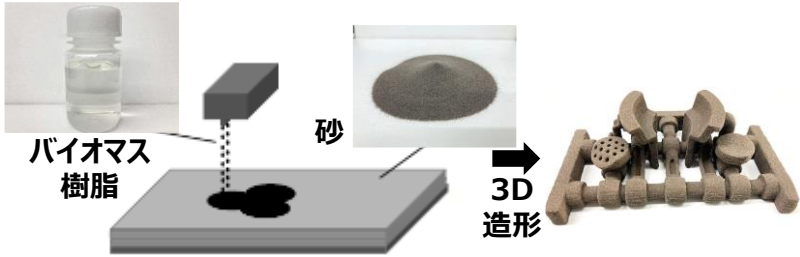
溶剤回収の仕組み



環境負荷低減に貢献

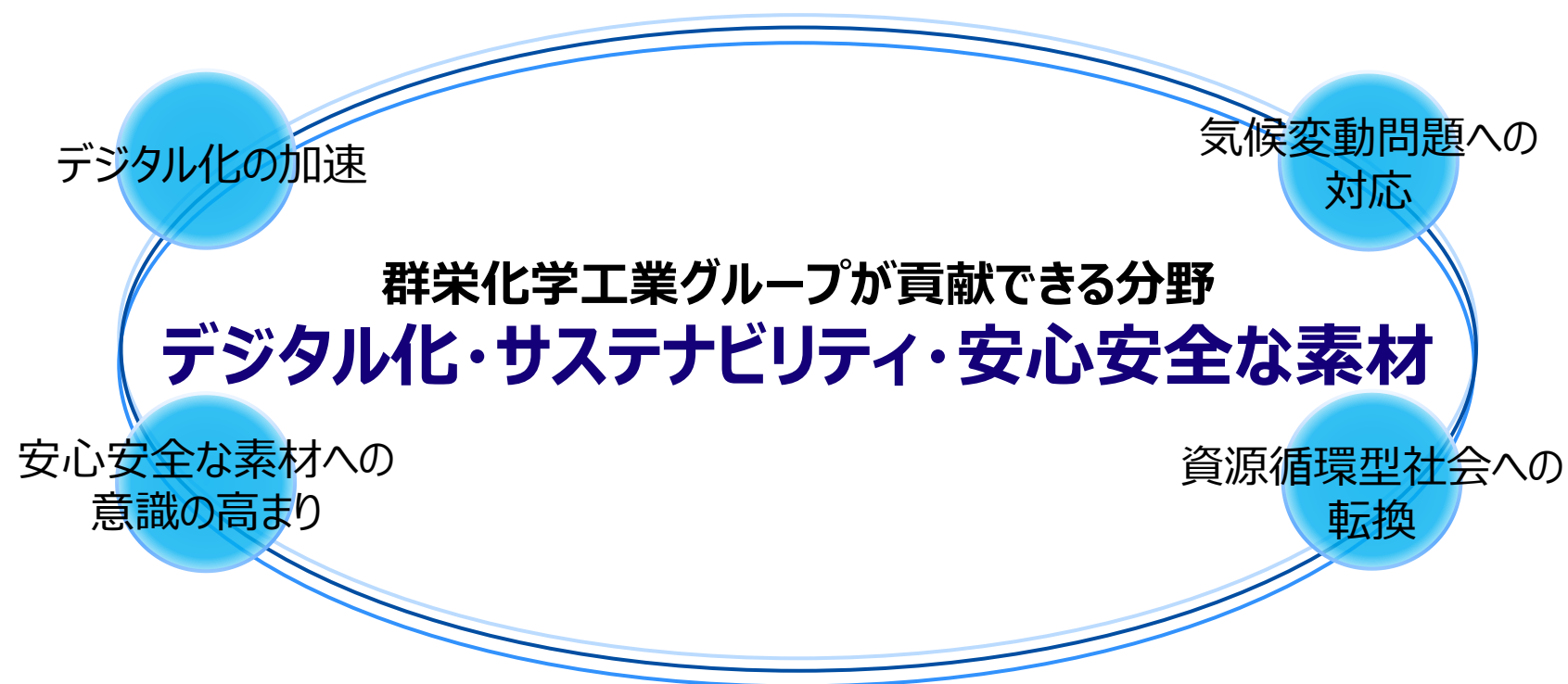
■ バイオマス原料を使用した製品や、お客様のプロセス改善に寄与する製品開発に注力

	製品	用途	性能・特徴
バイオマス原料	NFURAN® GFA-800	鋳型	・コーンコブ、カシューナッツシェル由来の バイオマス原料使用比率90%以上 ・鋳型柔軟性up（従来比約3倍）
	3D造形プロセス用 バイオマス樹脂	鋳型	・でんぷん由来の バイオマス原料を使用 ・作業環境、砂型崩壊性向上
プロセス改善	α system® AR-200	鋳型	・鋳型製造環境改善（ホルムアルデヒド発生量低減） ・品質向上（窒素含有量低減によるガス欠陥の低減）
	速硬化タイプ 樹脂 PG-4875	摩擦材	・ブレーキパッド製造時の硬化時間を短縮 （CO ₂ 排出量従来比30~40%削減）



成長戦略

合成・糖化技術の開発・再構築によりグローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献できる **"Green Chemical Industry(GCI)"**となる



主要ターゲット

社会的課題・ニーズ

デジタル化の加速



半導体など電子材料の需要増大

サステナビリティの追究



EVや省エネ・リサイクル製品の普及

安心安全な素材



植物由来製品の需要増大

群栄化学工業グループ保有技術・強み

電材（化学品事業）

フォトレジスト用樹脂の高いシェア
低メタル化技術
高い品質管理能力

環境材料（化学品事業）

高機能繊維カイノールの
唯一の製造会社
高度な繊維化技術

食品×化学品事業

蓄積された糖化技術
糖と化学の融合技術

**高純度・
先端材料**

電材分野

**環境対応
ケミカル**

**高機能
糖ケミカル**

Green分野

基本方針

1. 新規事業創出のための基盤作り
2. サステナビリティを巡る課題への取り組み
3. 経営基盤の強化
4. 生産性向上、収益力強化

4つの目指す方向性

① 高純度・先端材料	② 環境対応ケミカル	③ 高機能糖ケミカル	④ 経営基盤強化
電材分野	Green分野		

数値目標

財務目標 (2025年3月期)			非財務目標 (2031年3月期)
売上高	営業利益	営業利益率	CO ₂ 排出量*
350億円	40億円	11%	30%削減

*Scope 1・2, 2014年3月期比

設備投資計画

55億円（内、電子材料関連戦略投資：15億円）

方向性		主な方策	主な取り組み結果
電材分野	高純度・先端材料	重点投資による事業拡大	- 製造設備増設 工事完了・稼働中※投資① - 電材新工場 工事開始※投資②
		先端材料分野の開発強化	- 半導体周辺材料の開発継続、採用増加 - 後工程材料の開発着手
Green分野	環境対応ケミカル	環境対応製品の拡販	- 溶剤回収新規用途開発 - カイノール製造設備増設 工事中※投資③
		LCA対応による環境負荷低減システム開発	評価方法確立、LCA評価依頼増加
	高機能糖ケミカル	高付加価値製品の拡販	化粧品原料新製品「HAGmi」マーケティング継続中
		大学等外部機関とのアライアンス強化による糖ケミカル材料開発	開発リソース強化
経営基盤強化		グループ連携強化 サステナビリティを巡る課題への取り組み強化 従業員エンゲージメントの向上	- インドアGCI工場移転、生産能力増強 - ESG活動推進 （ CDP「B-」、EcoVadis「Bronze」 等 ）

用途	案件	中期経営方針2024			2026年3月期
		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
電子材料	製造設備増設 (※投資①) 投資額：10億円 キャパ：1.3倍	工事・認証			稼働中
	電材新工場 (※投資②) 投資額：35億円			工事・認証	稼働
環境材料 (カインール)	製造能力増強 投資額：1億円 キャパ：1.3倍	工事			稼働中
	製造ライン増設 (※投資③) 投資額：16億円 キャパ：1.3倍	工事			稼働



キャパ合計
1.7倍

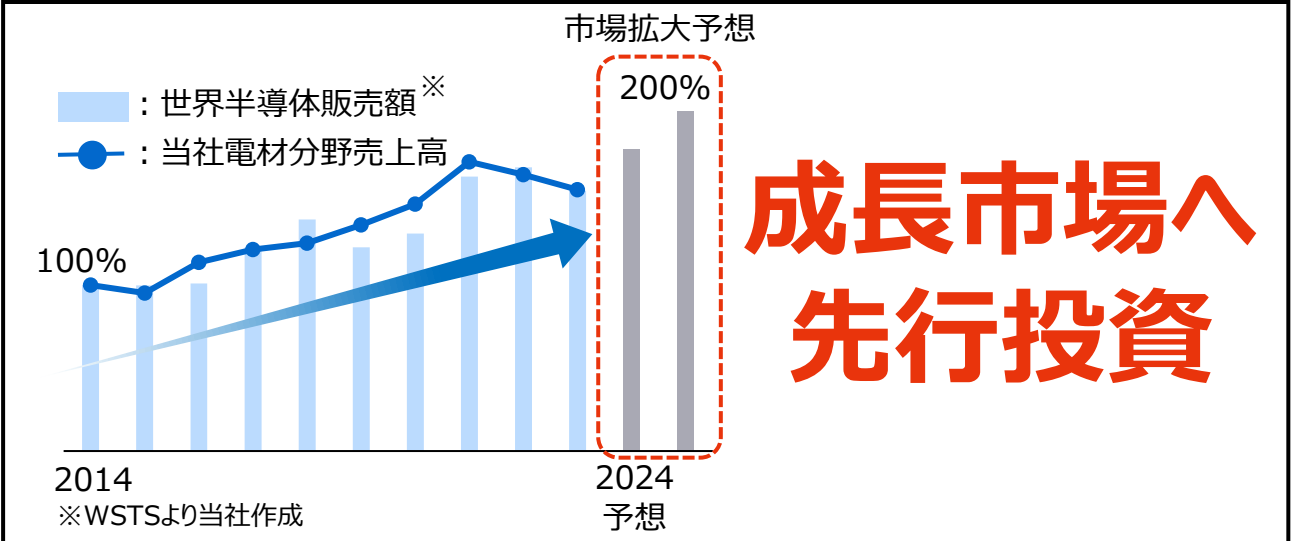
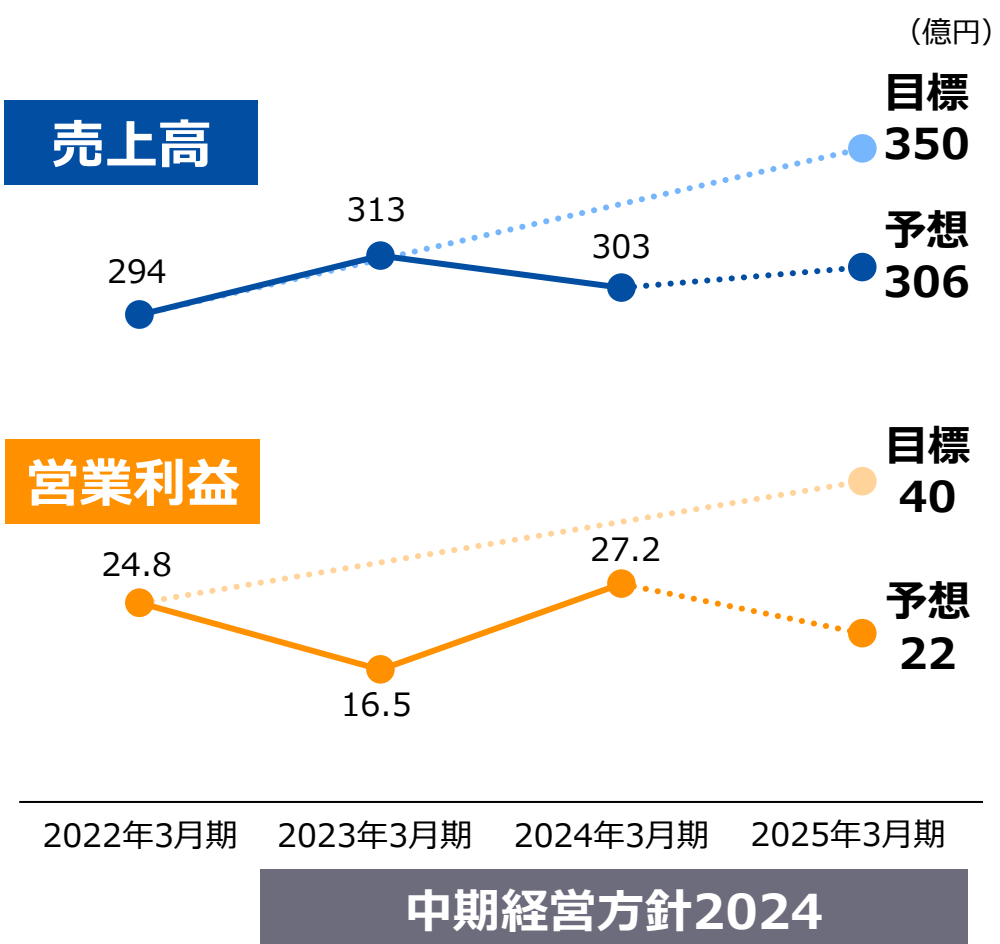


キャパ合計
1.7倍

- 様々な要因により、財務目標と業績予想に乖離 **中期経営方針2024 財務目標は達成困難**
- 長期ビジョン（ありたい姿）“Green Chemical Industry”への進化を目指すことに変わりはなく、4つの方向性の活動は継続

乖離の要因

- ・半導体市況の停滞
- ・原材料価格等の高騰
- ・新規穀物糖化液 販売開始も目標未達
- ・その他食品高付加価値製品 開発遅延
- ・減価償却費増加
- 等



2025年3月期 業績予想・株主還元

業績予想を修正

売上高▲4億円、営業利益＋1億円、経常利益＋2億円、純利益＋1億円

修正理由

- 半導体向け樹脂、ハイエンドディスプレイ向け樹脂が当初の想定以上に増加
- 工業材料、環境材料において中国経済悪化の影響が続く

2025年3月期 通期	当初予想	修正予想	増減	(参考) 2024年3月期
				(百万円)
売上高	31,000	30,600	▲400	30,310
営業利益	2,100	2,200	＋100	2,729
経常利益	2,300	2,500	＋200	3,162
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,600	1,700	＋100	2,040

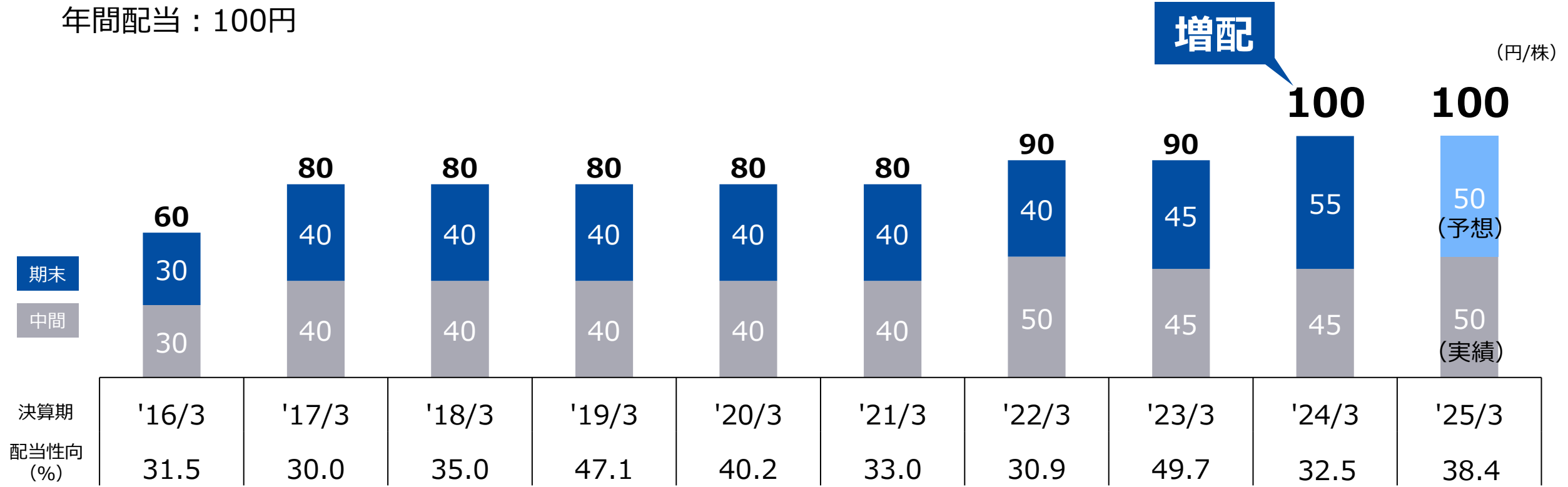
■ 2024年3月期

年間配当：100円（10円増配、90円 → **100円**）

■ 2025年3月期

配当方針：1株当たりの配当の向上に努め、**配当性向40%**（変更前 30%）を目安とした、安定的な配当を目指す

年間配当：100円



＜見通しに関する注意事項＞

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において
入手可能な情報に基づいて判断したものであり、
将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818（代表）